

女性活躍推進を通じて、世界最高の GPTW を目指す

経営者メッセージ



ミソノサービスでは世界最高の GPTW（Great Place to Work：働きがい最高の会社）を目指しており、老若男女関係なくリーダーや管理職に登用しています。女性の活躍推進もその一環であり、仕事への情熱があれば企業の最前線で活躍できる環境を整えています。男女共同参画企業と声高に行っている企業もたくさんありますが、制度を整えるだけで風土やマインドが伴わないのが現状ではないでしょうか。今後、女性の活躍は企業にとっても国家にとってもますます重要になっていきます。

私たちは、本気で男女共同参画社会の先駆けとなることを目指しています。最高の仕事を通じて成長できる環境を用意し、男性と女性が対等な戦士としてお互いを讃えあう風土をつくるのが、私たちに課せられた使命なのです。

代表取締役副社長 各務 修造

当社の取り組み

従来より社員のうち女性社員は約4割を占めており、その大半は事務業務に従事し、営業活動や既存顧客への渉外活動を行うことはレアケースであった、しかしながら、環境の変化が激しい時代に成長を続けることを考えた場合、老若男女の区別に依存しない営業活動や商品開発などが必要となった。こうした業務に女性を積極的に活用する体制の整備を図り、現在では3名の女性社員が法人顧客向けの営業活動に従事している。また、最近ではそういった社会人になりたいと入社を希望する女性の学生も増えてきている。



同時に女性管理職の採用も課題であったが、従前からの業務から職域と権限を拡大することで将来の管理職として育成する環境を整備した。それにより段階的に女性管理職比率も上昇しており（2012年0%→2017年9.5%）将来的には40%を目指しています。

制度の整備としては、育児退職者再雇用制度（カンバック制度）を制定し、経験、スキル、成長意欲を持つが出産・育児によりやむなく退社した女性社員が元の職場に復帰できることで長期に女性が活躍する場を広げた。

このようにミソノサービスでは従来の観念にとらわれず、女性社員が自らの意思で「様々な経験をすることで成長するんだ」というマインドを持つような風土と仕組みづくりに取り組んでいる。